

府中基地跡地新公園検討協議会

第1回 協議会資料

令和8年6月26日

(1) これまでの経緯と検討概要について

府中基地跡地留保地の概要

- 総合体育館の移転先である府中基地跡地留保地は、かつて米軍基地の一部として使われていた約14.9haの未利用地であり、令和2年には、府中基地跡地留保地利用計画を策定しています。また、令和3年9月には、留保地に隣接する米軍通信施設跡地(約0.8ha)が日本に返還されました。
- 令和4・5年に国が実施した自然環境調査において東京都の保護上重要な野生動物種(レッドリスト)に位置付けられているオオタカの営巣及び繁殖が確認されたほか、留保地内に総計24種の希少動植物の生息が確認されています。
- 留保地を取り巻く状況の変化を受け、利用計画の見直しを行い、令和7年5月に利用計画の改定を行いました。

府中基地跡地留保地 = 米軍基地跡地のうち、返還後も未利用のままとなっている国有地

「府中基地跡地」(面積約58ha)は、府中市の浅間町一丁目にあり、このうち、府中基地跡地留保地は、府中駅からは約1.6km、東府中駅からは約1.3kmに位置しています。戦前には陸軍の燃料廠、戦後には米軍基地が置かれ、米軍からの返還後は土地利用が進められてきました。

しかし、「府中基地跡地」には未利用の土地(面積約14.9ha)が残っており、この部分を「府中基地跡地留保地」と呼び、現在は国が所有・管理しています。

MEMO

“留保地”とは？

国の審議会(昭和56年)で府中基地跡地の方針が示された際、現在の留保地の部分については

「留保地」= 当分の間処分を留保する土地

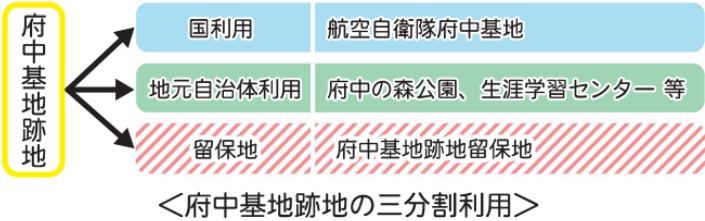
とされていたため、このように呼ばれて現在に至っています。



＜府中基地跡地留保地の位置＞

府中基地跡地の土地利用状況

「府中基地跡地」は、米軍からの返還後、国の方針によって「国利用」、「地元自治体（東京都、府中市）利用」、「留保地」に三分割して土地利用が進められてきました（右図）。
「留保地」を除いた部分から利活用が進められ、現在は下図のような土地利用となっています。



出所 | オープンハウス（令和6年10月開催）「府中基地跡地留保地利用計画」の見直しについて／府中市 まちづくり拠点整備推進本部 府中基地跡地留保地整備担当

府中基地跡地留保地利用計画の見直しとその考え方

- 米軍通信施設跡地も含んだ利用計画とするため、利用計画＜令和2年策定＞を見直し、自然環境の保全を図ったうえで、総合体育館の移転を中心とした土地利用の検討を行いました。
- まちびらきに向けては、令和7年5月に利用計画を改定し、国に提出しました。今後、都市計画決定が行われ土地処分される想定です。

「府中基地跡地留保地利用計画」見直しのポイント

ポイント① “基本的な考え方”と“ビジョン”を可能な限り踏襲

基本的な考え方

将来、人口減少や少子高齢化の加速的な進行が予想される中、人口構造の変化に対応した各種施策の展開に向けた活用はもとより、周辺市民の生活環境の向上、新たな魅力の創出による都市間競争力の向上につながる活用を図ることが重要です。これらを踏まえ、「少子高齢化への対応」や「市民交流の促進・交流人口増」など、多種多様な行政ニーズにこたえつつ、将来にわたり、市全体の魅力の向上に寄与する土地利用を図っていきます。

ビジョン

留保地の利用に当たっては、本市が有する「緑豊かなまち」や「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」などのブランドイメージを一層高めるとともに、本市の新たな魅力の創出につなげていくことを目的とし、将来を見据えた地域及び市全体の活性化に資するエリアを目指します。

ポイント② 総合体育館の府中基地跡地留保地への移転

令和4年に策定した「第7次府中市総合計画（前期基本計画）」において、留保地への総合体育館の移転が重点プロジェクトとして位置づけられており、今回の利用計画の見直しにおいても、引き続き、留保地エリアへの総合体育館の移転に向けた取組を推進します。



現在の府中市立総合体育館

土地利用の3つの特徴

既存施設も一体的に土地利用し総合体育館を移転整備

- 平和の森公園及び生涯学習センターの敷地も公園として一体的な土地利用へ
- 総合体育館は、留保地と平和の森公園と生涯学習センターの敷地にまたがる形で移転整備を想定

▶▶▶図の 部分

凡例			
府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地	①保全区域（国有地）	②公園用地	③道路用地
④公園用地	⑤公園用地	⑥公園用地	⑦公園用地

希少な猛きん類等の生息環境を保全するための保全区域

- 国との情報交換を継続
- 土地利用が可能となる場合は、その時点の社会情勢の影響等を踏まえた土地利用を目指す

▶▶▶図の 部分

幹線道路東側の全ての範囲を公園として土地利用

- 新設幹線道路東側の留保地及び米軍通信施設跡地（約7.2ha）すべてを公園として土地利用
- 公園内には移転する総合体育館と附属施設（多目的グラウンド等）を整備

▶▶▶図の 部分

利用計画（案）8ページ「図2 府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画図」

出所 | オープンハウス（令和6年10月開催）「府中基地跡地留保地利用計画」の見直しについて
府中市 まちづくり拠点整備推進本部 府中基地跡地留保地整備担当

出所 | 第2回オープンハウス（令和7年10月開催）「府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地
利用計画（案）」について／府中市 まちづくり拠点整備推進本部 府中基地跡地留保地整備担当

府中市新総合体育館基本構想 | 基本理念・基本方針

- 令和8年1月に策定した基本構想では、新総合体育館に求められる役割、府中らしさ、事業予定地における土地利用の考え方を踏まえ、新総合体育館が目指すべき姿として、基本理念を定めました。

『このまちの誇り、スポーツタウンの未来をひらく多機能アリーナ』 ～感動が生まれる場所。スポーツの力が育む、まちの誇りと魅力の新拠点～

- また、基本理念の実現に向けて取り組むべき方向性や施策を、基本方針として定めました。

基本方針1

誰もが気軽に「そだち・そだてる、する、みる、ささえる」を感じることができる場の創出

- 市民スポーツからプロスポーツまで幅広いスポーツ利用に対応した環境の整備
- トップチームの観戦や応援を通じて、スポーツの楽しさや感動を体感できる「みる」機能の導入
- 市民が日常的にスポーツを取り入れ、多様な世代の健康づくりを支える場の整備

基本方針2

多様な活動に柔軟に対応する、フレキシブルな施設整備

- 多様な競技種目や利用形態に対応したスポーツ活動の場の整備
- スポーツ活動に限らず、文化活動や地域イベントなど、多目的に活用できる諸室や設備の整備
- 天候にかかわらず、市民が快適に健康維持ができる屋内空間の整備
- 誰もが安全・安心に利用できるインクルーシブな環境整備
- 環境負荷の低減に配慮した機能の整備

基本方針3

地域や周辺環境のつながりを育み、交流とにぎわいを生み出す地域に開かれた拠点

- 周辺環境との連続性を形成し、誰もが集える、多様な目的に対応した施設機能の創出
- 運動やスポーツ、文化活動を通じて、世代間交流やコミュニティ形成の創出
- 周辺施設と連携し、イベントのない日でも市民が日常的に立ち寄り、交流や活動を楽しめる場の創出

基本方針4

災害時の市民の安全・安心を支える防災拠点

- 災害時に市民が安心して避難できる環境の整備
- 災害時に物資の受け入れ、配送等を行う地域内輸送拠点の整備

府中市新総合体育館基本構想 | 新公園検討の前提条件となる内容

- 基本構想では、新総合体育館の事業予定地における整備条件として留意すべき事項や配置計画、公園との連続性について、その考え方を整理するとともに、諸室構成を概算面積とともに示し、想定延床面積を記載しています。

整備条件 (P43)

【建ぺい率の制約】

- 将来的に公園部分にPark-PFI（公募設置管理制度）等の展開による**自由度の確保も想定して、新総合体育館の整備範囲を決める**必要があります。

【アクセス、駐車場配置】

- 自動車の**渋滞の回避を考慮したアクセスや、駐車場の配置・収容台数を検討**する必要があります。

【統一されたデザインの設定】

- 多様な来場者が利用しやすい**ユニバーサルデザインを導入し、案内看板や誘導標式等のサイン計画や植栽、園路等、景観のデザインを統一することで一体的な空間利用の展開**が期待できます。

配置計画 (P45)

- 留保地周辺エリアに移転し、**生涯学習センターの体育機能を統合**します。
- 府中基地跡地留保地、平和の森公園及び生涯学習センター跡地に**またがるように整備**します。



公園との連続性 (P50)

- 新総合体育館の整備に際しては、留保地に新たに設置する公園や周辺の大規模公園等との**緑の連続性を確保することで、一体的な緑地空間を創出**します。
- 体育館周辺の歩行者動線や公園と親和性の高い諸室の配置など、立地特性を意識した配置計画の検討**を行います。



想定延べ床面積 (P56)

- 新総合体育館の各諸室の規模の設定を踏まえ、各諸室の概算面積を次のとおり試算しました。
- なお、施設規模を簡易的に試算すると、**想定延床面積は25,000平方メートルから28,000平方メートルまで**となります。

諸室構成イメージ	概算面積等
メインアリーナ※	競技面積：2,500㎡程度 収容人数：5,000人規模以上 VIPホスピタリティ機能など
サブアリーナ※	競技面積：1,400～1,500㎡
トレーニング室	400㎡程度
マルチスペース 1	500㎡程度
マルチスペース 2	500㎡程度
マルチスペース 3	200㎡程度
キッズスペース	100～200㎡程度
温水プール	1,000㎡程度
その他諸室	0～2,000㎡程度
図書館	500㎡程度
共用部分等	—
想定延床面積	25,000～28,000㎡

※面積はフロアサイズを示す

参考 | 郷土の森総合体育館移転の経緯

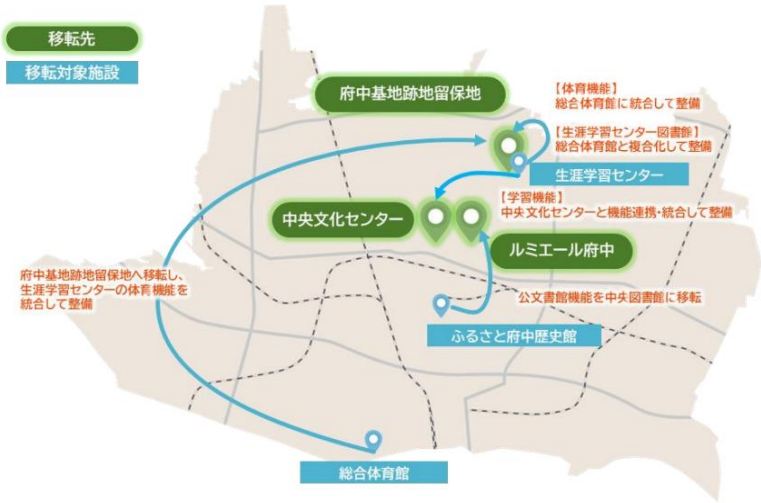
- ・ 府中市立総合体育館（以下「総合体育館」という。）は、第一体育室棟が昭和46年に竣工してから50年以上が経過しており、建物の老朽化が進行しています。
- ・ 総合体育館は、多くの市民に利用される施設であり、耐用年数も近づいてきていることから、府中市は、令和2年2月に策定した府中基地跡地留保地利用計画において総合体育館を府中基地跡地留保地（以下「留保地」という。）に移転する方向性を示し、令和3年度に策定した第7次府中市総合計画（前期基本計画）において「総合体育館移転関連事業」を重点プロジェクトの一つに位置付けました。
- ・ 同年度に策定した第2次府中市スポーツ推進計画においても「総合体育館の移転（建て替え）の検討」を重点項目に掲げ、トップチームの観戦・応援環境の整備のほか、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、新たな市民ニーズなどに応じて必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めることとしました。

郷土の森総合体育館の諸元 	配置	現状は郷土の森公園内に位置しているが、府中基地跡地留保地への移転が決定している。
	量	延床面積：13,228㎡ 地下2階、地上3階建て
	機能・空間	・ 体育室、武道場、弓道場、エアライフル場、相撲場、卓球室、レクリエーションホール、幼児体育室、トレーニング室、会議室などがある。 ・ 武道場及び体育室などの稼働率が高い。 ・ 弓道場、卓球室、トレーニング室などの利用者数は増加傾向である。
	運営	直営で運営している。

参考 | 文化・スポーツ施設配置等適正化計画における新総合体育館の取組

- 施設の老朽化による更新や維持管理コストの増大、市民ニーズの変化への対応などの多様化する課題やニーズを踏まえ、施設の配置や機能等の適正化を図ることを目的とした関連計画である「府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画」において、総合体育館の移転する際の機能統合等について方向性が示されています。

総合体育館 (抜粋)	総合体育館は府中基地跡地留保地に移転することとしているため、当該地に隣接する生涯学習センターの体育機能を統合して整備します。
生涯学習センター	- 体育機能は、総合体育館に統合します。 - 学習機能は、交通利便性の高い中心市街地に移転し、類似機能が多い中央文化センターの建て替えに合わせ、機能連携・統合します。 - 宿泊機能は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき廃止します。 - 各機能の分散移転等に伴い、既存の建物は解体することとします。また、適正な施設配置の観点から、当該施設の跡地と、隣接する府中基地跡地留保地とを併せて、一体的に総合体育館を整備します。 - 併設している生涯学習センター図書館は、地区図書館の中では貸出者数や貸出点数等が多いことなどを踏まえ、当該地区内に存置し、総合体育館と複合化して整備します。



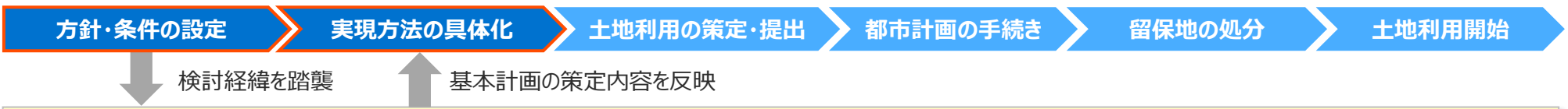
生涯学習センターの諸元 	配置	府中基地跡地に位置している。地区図書館（生涯学習センター図書館）が併設されている。
	量	延床面積：20,383㎡ 地下1階、地上4階建て
	機能・空間	- 学習施設（講堂、研修室、パソコン学習室、語学室、和室、工房、音楽室、スタジオ、小ホール等）、体育施設（体育室、温水プール、トレーニング室）、宿泊施設等がある。 - 宿泊施設は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針において、機能転換を図ることとしている。 - 音楽室、スタジオ、小ホール、体育室、温水プール、研修室の稼働率は高い。
	運営	平成25年度から指定管理者制度を導入している。

出所 | 府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画・令和6年10月／府中市 総務管理部 建築施設課

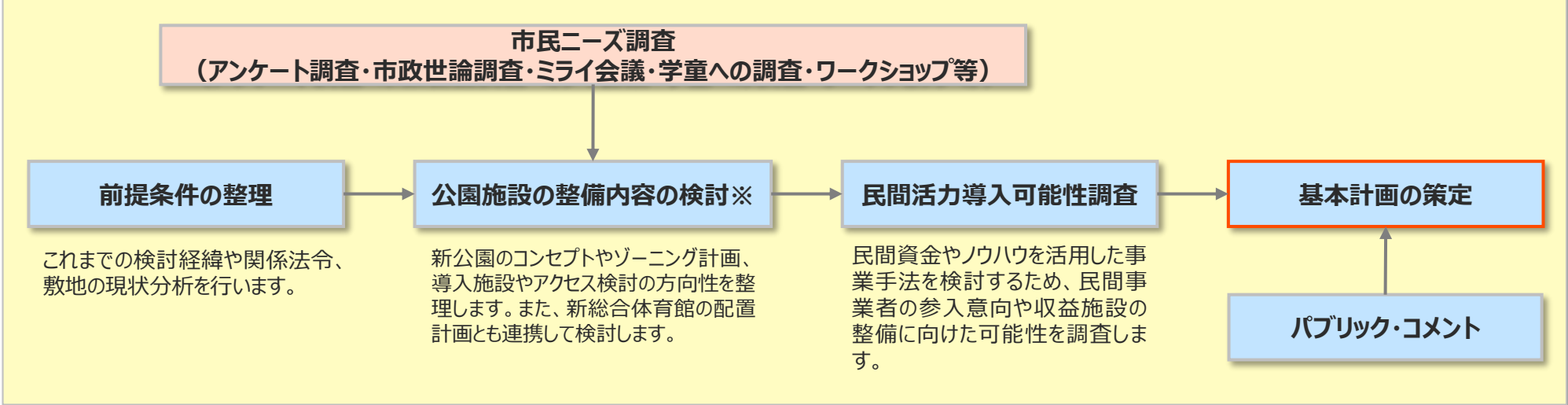
基本計画検討の全体像

- 基本計画は、新総合体育館の検討と並行して、新公園に求められる機能や果たすべき役割、事業化に向けた課題等について検討を行い、本協議会での討議を踏まえ、令和9年度に基本計画を策定します。

府中基地跡地留保地の土地利用開始までの流れ



基本計画検討の流れ



※検討項目

- ア 公園に関する市民ニーズの把握
- イ 公園に関する行政課題・需要整理
- ウ 公園全体のコンセプト・方向性の検討
- エ 公園内のゾーニングに関する検討

- オ 自家用車及び公共交通アクセスに関する検討
- カ 出入口・園路等の公園内動線に関する検討
- キ 公園整備の検討
- ク 配置平面図・イメージパース等の作成

凡例

協議会の討議対象項目

基本計画の策定に関連して実施する調査項目

(2) 検討スケジュールと基本計画の位置付けについて

検討スケジュール（案） | 協議会と市民ニーズ調査の全体計画

- 基本計画の策定までの検討スケジュールを示します（進捗に応じて時期や内容は変更することがあります）。

回	時期	次第（案）	協議内容（案）	ゴール設定
①	R 8 年 6/26	- 経緯、検討概要 - 検討スケジュールと基本計画の位置付け - 主な課題 - 市民ニーズ調査計画	- 全体実施計画に対する意見 - 市民ニーズ調査計画に対する意見	- 検討内容及び検討スケジュールに対する合意を得ること。 - 市民ニーズ調査項目について合意を得ること。
● 市民ニーズ調査 アンケート調査（公園内への導入機能や使い方を把握）				
②	R 8 年 10月頃	- 市民ニーズ調査の結果報告 - コンセプト（案） - ワークショップ・オープンハウス計画	- コンセプト（案）の検討に対する意見 - ワークショップ・オープンハウス計画に対する意見	コンセプト（案）の検討やワークショップ・オープンハウス計画について合意を得ること。
● 市民ニーズ調査 ワークショップ（コンセプト（案）等の意見交換）				
③	R 8 年 11月頃	- ワークショップ等の結果報告 - コンセプト、ゾーニング検討 - 新総合体育館との整合	コンセプト、整備の方向性検討、ゾーニング、機能連携の検討に対する意見	コンセプト、整備の方向性検討、ゾーニング、機能連携の検討に対する合意を得ること。
● 市民ニーズ調査 オープンハウス（整備の方向性の意見聴取）				
④	R 9 年 2月頃	- オープンハウスの結果報告 - 導入施設の方向性、アクセス検討	導入施設の方向性、アクセス検討に対する意見	導入施設の方向性、アクセス検討に対する合意を得ること。
● 周辺住民を対象とした意見聴取				
⑤	R 9 年 5月頃	- 周辺住民からの意見聴取の報告 - 民間活力導入可能性調査結果 - 基本計画骨子の確認	- 公園内動線の要件設定に対する意見 - 整備に向けた留意点、展望 - 基本計画骨子に対する意見	- 公園内動線の要件設定に対する合意を得ること。 - 基本計画骨子に対する合意を得ること。
⑥	R 9 年 6月頃	基本計画素案の確認	基本計画素案に対する意見	基本計画素案内容に対する合意を得ること。
⑦	R 9 年 7月頃	基本計画（案）の答申	基本計画素案からの修正箇所の確認	答申に向けて、基本計画内容に対する合意を得ること。
● パブリック・コメントの実施 オープンハウス型（基本計画の周知と意見集約）				
● 基本計画の策定（基本計画（案）についてパブコメを実施し、庁内合意形成を得て策定）				

基本計画の位置付けについて

● 供用開始までの全体的な検討の流れにおける基本計画の位置付けは、設計に向けた要件を整理することです。

	利用計画(基本構想)	基本計画	基本設計	詳細設計	建設工事～供用開始
検討内容	● 多種多様な行政ニーズを踏まえ、土地利用の基本的な考え方を示すとともに、目指すべき土地のビジョンや考え方を明確にするもの。 ● 公園として利用するエリアや保全区域、幹線道路の位置について、利用計画図を作成するもの。	● 公園の設計や整備を進めていくための根幹となる考え方（コンセプト）を設定する。 ● ステークホルダーのニーズ等から、必要な公園機能や利用用途を踏まえ、今後の設計検討に留意すべきその要件を洗い出し、公園に導入する機能をゾーニング図として作成するもの。	● 公園施設の配置や動線計画、備えるべき機能や設備を図面に取りまとめ、公園施設の具体的なイメージを明確にするもの。 ● また、おおまかな整備費を算出する。	● 基本設計に基づき、建設工事を行うための、仕様や規格、デザインを検討し、工事費の積算を行うもの。	● 詳細設計図面に基づき、施工図面を作成し、建設工事を行うもの。
作成イメージ※	候補地の利用用途やビジョンを設定する。 ＜例：公園利用＞ 	必要な公園機能を踏まえ、ゾーニング図を作成する。 ＜例：自然遊具ゾーン＞ 	各公園施設の具体的な配置を設定する。 ＜例：低学年の滑り台＞ 	各公園施設の具体的な寸法や仕様を設定する。 ＜例：木製の滑り台＞ 	
決めるべき事項	具体的な公園施設には言及しないが、現状の課題を把握し、土地利用の基本的な考え方を整理する。	各ゾーニングエリアについて、具体的な利用を想定するとともに、 設計検討時の要件（必要な条件・重要な事柄）を整理 する。	各エリアに導入する公園施設や動線計画等を踏まえた大まかなレイアウト、必要な公園整備の考え方を整理する。	導入する公園施設ごとに配置や設置数量、公園施設の仕様を決定する。	設計図面どおりに施工されているか確認を行う。

※本資料の挿絵はイメージであり、生成AIを使用して作成したもの

(3) 検討を進める上での課題について

検討を進める上での課題について

- 新公園だけでなく、新たなまちづくりの観点から、それぞれ基本計画の作成に向けて方向性を示すべき課題事項を整理していきます。
- 各委員の皆様から本事業における検討の視点や考えをお聞かせください。



新公園

- 府中基地跡地留保地におけるこれまでの検討経緯について、利用計画（令和7年度改定）の「基本的な考え方」や「ビジョン」を踏まえたものにすること。
- 検討プロセスと市民ニーズを融合させ、新たな公園像の具現化を図るとともに、市民によって利用される公園整備に向けた機運醸成を図ること。
- 広域な整備範囲となることから、民間資金やノウハウの活用を視野に財政負担の低減を図る整備を目指すこと。
- 新総合体育館や周辺の公園との機能連携、周辺住民に配慮した公園ゾーニング計画や動線計画等の検討を網羅的に行うこと。



新たなまちづくり

- 府中市のまちづくりでは、市民や関係団体等との対話やコミュニケーションを重要視しており、引き続き、これまでの検討経緯の積み重ねになる検討プロセスにより、事業を進めること。
- 鉄道沿線からやや距離があるため、計画地内の動線計画だけではなく、最寄りの公共交通機関からのウォークブルな歩道空間の在り方を検討する必要があること。
- 府中市の新たな拠点となることにふさわしい先進的な機能や仕組みを検討するとともに、検討の進捗状況を適宜周知することで市民が愛着を持つ場所にしていくこと。

(4) ニーズ調査（アンケート）計画について

① 調査目的・方針

- ・ 市民ニーズは、検討段階に応じて①アンケート、②ワークショップ、③オープンハウスで把握することを予定しています。
- ・ 新公園の検討の着手にあたっては、幅広く公園に求める導入機能や使われ方の意向を把握するため、アンケート形式での調査を行います。
- ・ なお、基地跡地留保地全体については、過去にも意見収集を行っており、これらの結果を踏まえた上で調査内容を検討するものとします。

調査目的

新公園のコンセプトや整備の方向性を検討するため、求める導入機能や使われ方について、幅広く市民ニーズを把握する。



調査方針

項目	方針
調査対象	・ 過去の調査を踏まえ、想定される利用者層にアプローチ可能な対象を設定。 ・ これまでの調査でアプローチの少なかった利用者層への重点的なニーズ把握。
調査内容	・ これまでの調査結果を活かし、公園へのニーズの適用可能性や、ニーズの優先度などの深掘りを行う。 ・ 基本計画段階であり、具体的な施設要望は発散する恐れがあるため、「どのような活動をしたいか」といった新公園に持つイメージを具体化できるような質問内容とする。 ・ 対象者に応じ、質問内容のバリエーションも検討する。

② 既往調査の整理 | 対象

- 過去に対象地の利活用方法について、ワークショップ（WS）やアンケート等が行われています。そのうち公園に関わる意見が寄せられているのは以下の調査です。

調査	実施時期	対象者	実施概要
第1回 府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたWS	H30年3月	参加者41名	留保地に求められる機能についての意見交換
第2回 府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたWS	H30年7月	参加者27名	「スポーツ推進」「緑」「都市の魅力向上」の3つの「土地利用目標・土地利用方針イメージ」についての意見交換
ポスターセッション及び市民アンケート	R元年5月～6月	ポスター：112名 ENQ：市民2,000人に郵送(18歳以上無作為抽出)	利用計画についての周知、府中基地跡地留保地の利用に対する市民意向を把握
府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくりに向けたWS	R3年7月	参加者43名 (うち明星高校13名)	「新たな価値の創出（＝イノベーションの創出）」に向けた具体的な取組みの検討に向けたアイデア抽出
利用計画の見直しに関するオープンハウス	R6年10月	来場者993名 (うちアンケート回答242名)	事業に関する取組内容の周知・意見収集
『府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（案）』に係るパブリック・コメント	R7年3～4月	提出者数61名	『府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（案）』についての意見を収集
新総合体育館基本構想アンケート	R7年3月	小・中学生：1072件 市民：812件 競技団体：29件	新総合体育館に求められている規模、附帯機能、コンテンツ等について、市民及び競技団体のニーズを把握する
世論調査	(実施予定)	-	-

② 既往調査の整理 | 第1回 府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたWS

- ・土地利用の方向性について、市民から「緑」「防災」「子どもの遊び場」など公共性を重視する意見が多く挙がりました。
- ・特に、既存の環境を活かした活用に関心が寄せられています。

調査概要

開催日

平成30年3月17日、18日

参加人数

41名

実施目的

留保地に求められる機能に関して意見を伺う

実施内容

①：「府中市の現状と課題」をテーマとし、個人が考える府中市の良いところや改善してほしいところなどの意見交換

②：「留保地に求められる機能」をテーマとし、具体的な機能をディスカッション

調査結果（抜粋）

●土地利用全体に係る主な意見

機能を議論いただく中で、次のとおり土地利用全体に係る多くの意見がありました。

分類	主な意見内容	
土地利用の方針・方向性に関する意見	・世代間の交流ができる場や、全ての世代が利用できるものがほしい ・生涯育成に使用できるものがほしい ・子どもたちの歓声が聞きたい、子育てのしやすいまちにしたらよい ・心を育てるような場所をつくる ・府中市に人を呼びこむ（企業）誘致が必要 ・市の財政を使わず、民間を誘致する ・市の財政にも市民にとっても、メリットのある施設が望ましい	・既設のもののリニューアル（増改築を含め）を考えるべき ・ハコモノになるような利用はできるだけ避けるべき ・維持費がかかるから建物は要らない ・お金のかからない（福祉）施設を誘致したらどうか ・アンケートや多数決ではなく、周辺のニーズを聞いてほしい ・ここにしかないものとして跡地を残す ・バラバラアンテナは、歴史遺産として残す
ゾーニングの方向性に関する意見	・マンションがない区域、低層区域 ・周辺への配慮が必要	・地形を活かしたらどうか
整備方針に関する意見（交通・生態系等の留保地に関する整備方針）	・交通アクセスをよくしてほしい ・周辺の道路を改善できるもの（東西及び南北のアクセス） ・周辺道路が狭いため、歩道・自転車道が必要	・歩道を拡張・セットバックして欲しい ・留保地の動物への配慮や、虫への対策 ・防災機能を持たせる、発電機能 ・夜間一部完全閉鎖の施設が必要
整備推進方策に関する意見（マネジメント体制・スケジュールに関する意見）	・ハードだけではなく、ソフトが重要である ・段階的な整備が必要	・長期的な計画をもって、継続的に使えるようにする ・庁内の調整役がいらない

出所：府中基地跡地留保地ニュース（第2号）

② 既往調査の整理 | 第2回 府中基地跡地留保地利用計画策定に向けたWS

- 公園や交流空間など、具体的な利用イメージについての議論が進み、多世代が利用できる場への期待が共有されました。一方で、静かな環境や景観を重視する意見もあり、利用と住環境の保全の両立が議論されています。

調査概要

開催日	開催時間	場所	参加者数
平成30年 7月20日（金）	19：00- 21：00	府中市民活動 センタープラッツ 第一会議室	12名
平成30年 7月22日（日）	14：00- 16：00	府中市生涯学習 センター 研修室2	15名

実施目的

「土地利用目標・土地利用方針イメージ」についての意見交換

実施内容

「スポーツ推進」「緑」「都市の魅力向上」の3つの「土地利用目標・土地利用方針イメージ」それぞれに対し、「こんな風にしたい」という意見を検討シートに記入の上、班ごとにご議論

調査結果（抜粋）

2 案「緑を中心とする憩いと交流のエリア」

「緑と憩い」 に関する意見	・ 地域住民向けとしてあまり人は来てほしくない。 ・ 市外からの観光客を呼び込みたい。 ・ 子ども向け機能の整備を行うと共に、大人も楽しめる場としたい。 ・ 緑を生かしながらも、他の公園とは異なる場所にしたい。 （例：管理者が常駐し、子供たちが自由に遊ぶことのできる場であるプレイステーション、野外撮影スタジオ、フラワーガーデン、パラボラアンテナ等の史跡巡りツアーが可能な公園等）
「住まい・暮らし」 に関する意見	・ 1 案と同様の意見に加え、公園と調和した緑を多く配置した施設、周辺の既存住宅地と調和した低層環境が整備されてほしい。 ・ 住宅地が整備された場合、学校の生徒数の問題に留意する必要がある。

出所：府中基地跡地留保地ニュース（第3号）

② 既往調査の整理 | 令和元年 ポスターセッション及び市民アンケート

- ・ 土地利用において、府中市の新たな魅力の創出などが重視されています。
- ・ 事業の推進にあたっては、災害時への配慮や交通アクセスの向上といった要望が多く見られました。

調査概要

	ポスターセッション	市民アンケート
実施日時 (発送日時)	令和元年6月2日(日) 10:00-17:00	・ 発送 令和元年5月29日(水) ・ 返信締切 令和元年6月16日(日)
実施場所 (調査対象者)	京王線府中駅前 ル・シーニュ 2階イベントスペース	市民2,000人に郵送 (18歳以上無作為抽出)
参加者数	112人 (内訳：市内在住90人、 市外在住22人)	720人 (回収率36.0%)

実施目的

利用計画についての周知、府中基地跡地留保地の利用に対する市民意向を把握

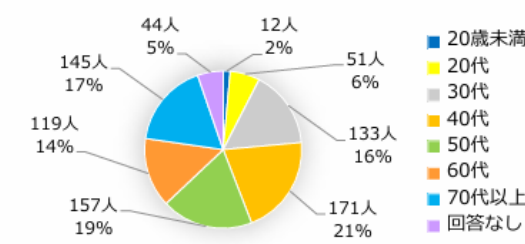
実施内容

留保地の認知度や土地利用において重視すべき事項、留意点などについて意見を収集

調査結果（抜粋）

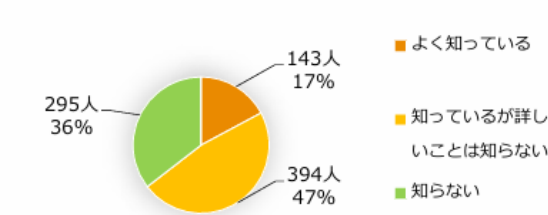
(1) 回答者の年齢

質問：回答者の年齢を教えてください。



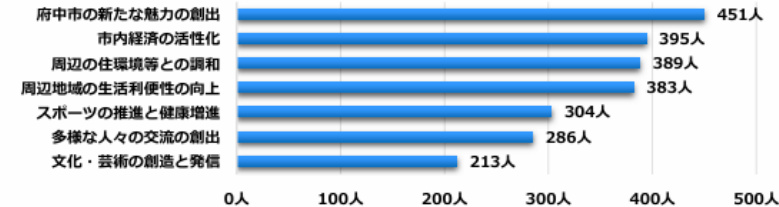
(2) 留保地の認知度

質問：府中基地跡地留保地を知っていますか。



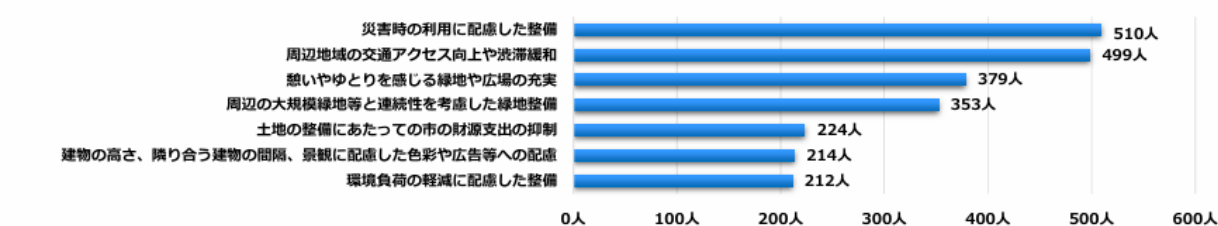
(3) 目標・効果

質問：留保地の土地利用については、「緑豊かなまちなど市の持つブランド力を高めつつ、都市としての魅力を向上させる新たな価値を創出するエリア」とすることを目標としています。目標を達成するためには、どのような視点を重視することが大切だと思いますか。（3つまで選択）



(5) 配慮すべき事項

質問：留保地を利用するに当たりどのような点において配慮が必要だと思いますか。（3つまで選択）



出所：府中基地跡地留保地ニュース（第6号）

② 既往調査の整理 | 府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくりに向けたWS

- 魅力あるまちづくりに向け、デジタルの活用や賑わい形成の取り組みなど、具体的なアイデアが寄せられました。
- そのほか、緑地の保全や防災に関して関心が寄せられています。

調査概要

開催概要

- 7月10日（土）午後7時～9時
 - ・会場：市民活動センター「ブラッツ」第一会議室
 - ・参加者数：15名（明星高校：6名）
- 7月11日（日）午前10時～正午
 - ・会場：生涯学習センター 研修室2
 - ・参加者数：28名（明星高校：7名）

※ 明星中学・高等学校との連携事業により、各日ご参加いただきました。

実施目的

「新たな価値の創出（＝イノベーションの創出）」に向けた具体的な取り組みの検討

実施内容

「新たな価値の創出（＝イノベーションの創出）」の実現に向けて「地域活力の回復・増進」、「魅力ある地域特性の創造」、「環境の変化に対応した持続可能なまちの仕組み」の3つのテーマを設定し、各テーマごとに意見交換を実施

調査結果（抜粋）

府中基地跡地留保地周辺地区のまちづくりに向けたワークショップ 当日の意見の概要

地域活力の回復・増進

- まちづくりポイントの活用に関する意見
 - まちづくりポイントの導入
 - まちの人々と協力・連携したシステム構築
- パブリックアートの設置やまちのデザインに関する意見
 - フォトジェニックなアート作品等を点在させることによる集客力の向上（設置に当たっては通行幅に配慮が必要）
 - 監修デザイナーやアート作品の公平な選定
 - 夜間も光るフラッグ等の設置による、美観性と安全性の確保
- デジタルサイネージの活用に関する意見
 - 店舗やイベント情報に加えた、観光案内や交通情報のリアルタイム表示
 - 多言語対応やスマートフォンアプリとの連動
- にぎわいを創出するイベントの実施と地域間の連携に関する意見
 - 「中心市街地などにおける既存のイベント」と「留保地におけるイベント」の積極的な連携
 - 地産地消・市民主体のイベントの実施
 - ヨーロッパの街並みのようなオープンカフェや歩行者天国の実施
 - マルシェ、マーケット、音楽イベントなどの実施 …等

魅力ある地域特性の創造

- 緑を活用した空間づくりや保全に関する意見
 - 生態系調査の実施と現在の自然の保全
 - 自然と共生するデザインやルールの設定による、緑豊かなまち並みの形成
 - 歩きたくる道（遊歩道等）の整備
 - 整備した樹木などの継続的な管理
- 多様な人々の交流の場の整備に関する意見
 - 誰もが使いやすい、インクルーシブ公園の整備
 - 子供の居場所や、多世代交流の場の整備
- 魅力を生み出すイベントの実施や施設整備に関する意見
 - オープンカフェ、マーケット、野外シネマ、ポップアップショップ、市民主体のイベントなどの実施
 - 農業に関するイベントや取組の実施（地元農家のファーマーズマーケット、農業体験、東京農工大学との連携など）
 - スポーツに関連するイベントの実施（パブリックビューイング、ラグビー、馬など）や、施設の整備（球場、クラブハウス、ジョギングコースなど）
 - アートに関する施設の整備（アート広場、アートボードなど）
 - バーベキューやキャンプなどが楽しめる場の整備
 - 地域の歴史・文化を発信・体験できる場の整備 …等

環境の変化に対応した持続可能なまちの仕組み

- 環境に関する意見
 - 持続可能な地域づくりやスマートタウンの形成
 - CO₂排出削減等の環境に関する目標設定や、ルールづくり
 - 再生可能エネルギーの利用や、エネルギー供給システムの導入
 - 電気自動車や水素燃料自動車の導入
 - シェアサイクル等のシェアリングモビリティの導入
 - グリーンカーテンやミストシャワーの設置
 - 無料の給水所の設置
 - 地域の企業（東芝・NEC）や、環境・防災系の大学研究室との連携
- 防災に関する意見
 - 防災センターや避難場の整備
 - 非常時の電源供給システムの導入
 - 商業施設等との防災協力協定の締結
 - 災害時の自治や組織づくり
 - 防災マップの作成
 - 防災を啓発するイベント（防災キャンプ等）の実施
 - 水害へのハード・ソフト面での対策 …等

その他、たくさんのご意見をいただいております。

出所：府中基地跡地留保地ニュース（第9号）

② 既往調査の整理 | 利用計画の見直しに関するオープンハウス

- ・土地利用に関する意見では、多世代利用や自然環境の保全などの意見が見られました。
- ・アンケート回答者は60代以上が半数以上であり、高齢者層の関心の高さが伺えます。

調査概要

会場	生涯学習センター	フォーリス 光と風の広場
実施日時	令和6年10月13日(日)・14日(祝) 午前10時から午後5時まで	令和6年10月21日(月)・22日(火) 午前10時から午後8時まで
来場者数	247名 (2日間合計)	746名 (2日間合計)

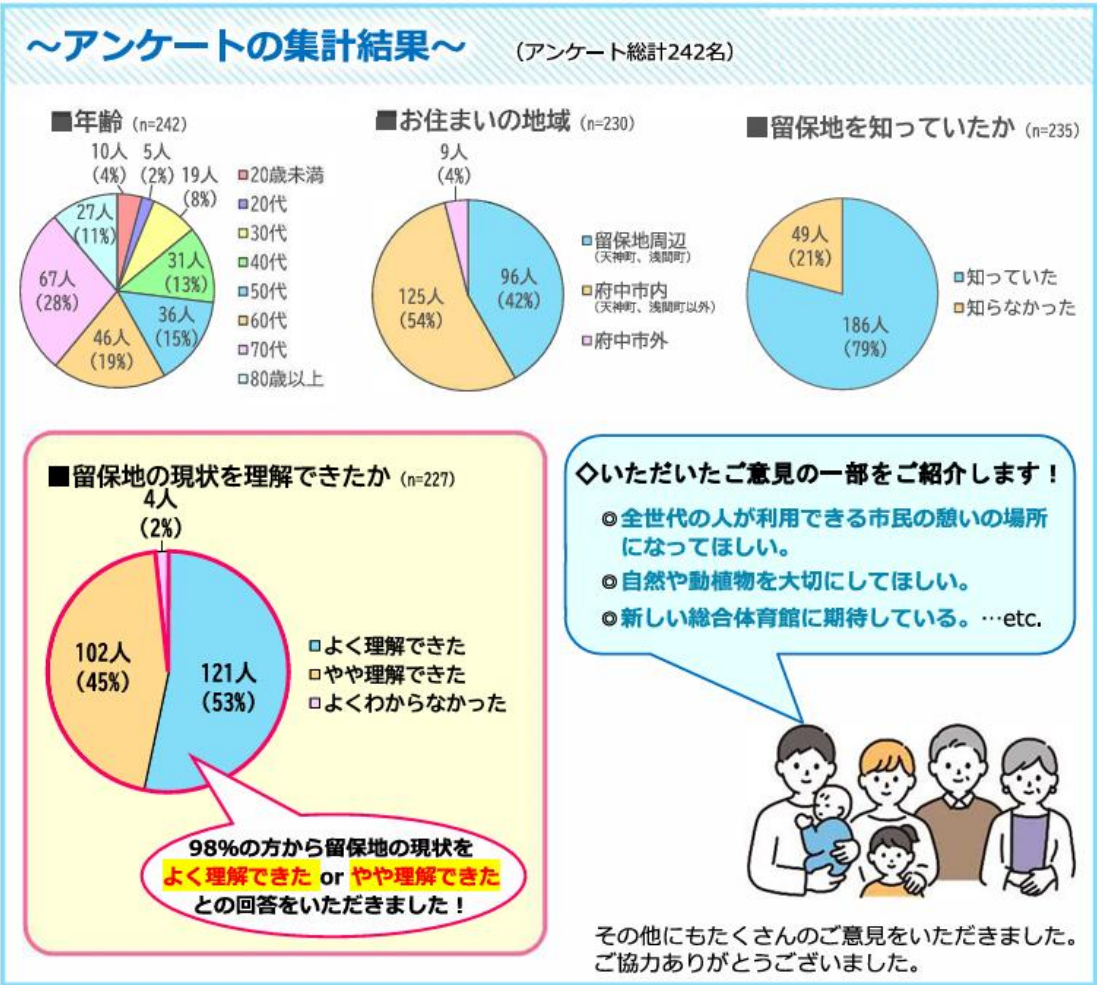
実施目的

「府中基地跡地留保地利用計画」見直しについての周知

実施内容

留保地のこれまでの経緯やポテンシャル、土地利用の見直し方針についてポスター掲示を行い、取組に関する理解や、土地利用に関する意見の収集を実施

調査結果（抜粋）



出所：府中基地跡地留保地ニュース（第12号）

② 既往調査の整理 | パブリック・コメント

- ・ 計画案に対して、交通、防災、環境負荷、維持管理など具体的な観点から多様な意見が寄せられました。
- ・ 長期的に安全・安心に利用できる公共空間として整備してほしいという要望が多く見られました。

調査概要

パブリック・コメント手続の実施結果

令和7年3月10日（月）から令和7年4月9日（水）までの期間で、「府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（案）」に対して、市民の皆様のご意見を募集するパブリック・コメント手続を実施しました。いただいたご意見及び市の考え方は市のホームページ等でご覧いただけます。

提出者数	件数	意見の提出方法		
		オンライン	郵送	投函及び持参
61	122	57	1	3

※改定した利用計画と同じ場所でご覧いただけます。

たくさんのご意見
ありがとうございました！



実施目的

『府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（案）』の策定に向け、意見を収集

実施内容

『府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（案）』を市HPで公開し、オンライン等での意見収集を行う

調査結果（抜粋）

区分	主な意見
緑・自然環境の保全	・ 既存樹林やオオタカの生息環境の保全 ・ 緑地を分断しない配置計画
多世代が利用できる公共空間の確保	・ 誰でも使える公園・広場 ・ スポーツ施設や交流施設 ・ 子育て世代向けの施設 ・ 高齢者も利用しやすい空間
交通	・ 周辺道路の渋滞対策 ・ バス路線の充実 ・ 歩行者・自転車の安全確保 ・ 周辺住宅地への配慮
防災機能	・ 災害時避難場所 ・ 広域防災拠点 ・ 備蓄・救援機能 ・ ヘリポート等の設置
市民参加の継続	・ 継続的な説明会開催 ・ 若年層の意見反映 ・ ワークショップの実施 ・ 情報発信の充実
計画の柔軟性・透明性	・ 将来状況に応じた見直し ・ 整備スケジュール明示 ・ 用途地域変更時の説明

出所：府中基地跡地留保地ニュース（第14号）

② 既往調査の整理 | 新総合体育館基本構想アンケート

- 新総合体育館のニーズとして、天候に左右されないスポーツの場の提供による運動習慣の普及へ有効とされたほか、スポーツ観戦やコンサート利用、利用者同士のコミュニケーション、学習や滞在の空間など多様なニーズが伺えました。
- こうしたニーズの充足に向け、公園も一体的に活用することが考えられます。

調査概要 実施目的

新総合体育館に求められている附帯機能や規模、コンテンツについて、市民及び競技団体のニーズを把握する

調査対象

- 一般市民
- ※留保地の近隣小・中学校 4 校の在校生及びその保護者
- 競技団体（府中市スポーツ協会加盟の全29団体）

調査期間

令和 7 年 3 月 1 日～3 月 3 1 日

実施事項		周知方法	回収件数
小中学生	小学校 (府中第六小学校・若松小学校)	学校を通じて、回答URLを配布	703件
	中学校 (府中第五中学校・浅間中学校)		369件
	合計	－	1,072件
一般	一般	市報で周知、及び施設の窓口で回答URL・回答票を配布	371件
	小中学校の保護者	学校を通じて、回答URLを配布	441件
	合計	－	812件
各競技団体		市より、各団体に回答URL・回答票を配布	29件
合計			1,913件

調査結果（抜粋） 酷暑・雨天時の運動の場×スポーツの好き嫌い（一般市民）

		総計	木陰や屋根のある場所が多い公園	市の運動ができる屋内施設	民間の運動ができる屋内施設	自宅	普段と同じ屋外の場合（公園や屋外施設）	天気が悪い日には、運動やスポーツをしない	行わない	その他	(空白)
総計	n	811	22	193	79	151	21	193	138	13	1
	%		2.7%	23.8%	9.7%	18.6%	2.6%	23.8%	17.0%	1.6%	0.1%
好き	n	353	12	127	51	48	15	62	27	10	1
	%		3.4%	36.0%	14.4%	13.6%	4.2%	17.6%	7.6%	2.8%	0.3%
どちらかといえば好き	n	337	10	58	24	77	4	100	63	1	0
	%		3.0%	17.2%	7.1%	22.8%	1.2%	29.7%	18.7%	0.3%	0.0%
どちらかといえば嫌い	n	97		8	4	22	1	28	32	2	0
	%		0.0%	8.2%	4.1%	22.7%	1.0%	28.9%	33.0%	2.1%	0.0%
嫌い	n	24				4	1	3	16	0	0
	%		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	4.2%	12.5%	66.7%	0.0%	0.0%

新総合体育館で行いたい活動×スポーツの好き嫌い（一般市民）

		総計	現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	スポーツ観戦ができる	コンサートを見られる	スポーツの大会に参加、観戦ができる	専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけられる	特になし	その他
総計	n	811	157	510	412	283	51	245	197	30	131	84	24	31
	%		19.4%	62.9%	50.8%	34.9%	6.3%	30.2%	24.3%	3.7%	16.2%	10.4%	3.0%	3.8%
好き	n	353	107	233	196	120	30	122	56	10	54	17	4	13
	%		30.3%	66.0%	55.5%	34.0%	8.5%	34.6%	15.9%	2.8%	15.3%	4.8%	1.1%	3.7%
どちらかといえば好き	n	337	41	213	166	135	21	91	92	15	62	43	8	13
	%		12.2%	63.2%	49.3%	40.1%	6.2%	27.0%	27.3%	4.5%	18.4%	12.8%	2.4%	3.9%
どちらかといえば嫌い	n	97	7	57	43	26	0	26	40	3	13	22	5	5
	%		7.2%	58.8%	44.3%	26.8%	0.0%	26.8%	41.2%	3.1%	13.4%	22.7%	5.2%	5.2%
嫌い	n	24	2	7	7	2	0	6	9	2	2	2	7	0
	%		8.3%	29.2%	29.2%	8.3%	0.0%	25.0%	37.5%	8.3%	8.3%	8.3%	29.2%	0.0%

新総合体育館で行いたい活動×スポーツの好き嫌い（一般市民）

		総計	レストラン、カフェ等の飲食スペース	コンビニエンスストア、売店	ジム、トレーニングルーム	観がついているスタジアム（フットボール、バスケットボール等）	屋内ランニングコース	着替えや荷物の預け入れができるスペース	待ち合わせや休憩ができるスペース	勉強や読書、会議ができるスペース	屋内のキッズスペース（託児スペース含む）	特になし	その他
総計	n	811	457	346	378	107	120	237	212	182	141	11	77
	%		56.4%	42.7%	46.6%	13.2%	14.8%	29.2%	26.1%	22.4%	17.4%	1.4%	9.5%
好き	n	353	183	159	183	47	62	100	81	68	55	2	46
	%		51.8%	45.0%	51.8%	13.3%	17.6%	28.3%	22.9%	19.3%	15.6%	0.6%	13.0%
どちらかといえば好き	n	337	195	137	151	50	48	109	96	80	56	4	24
	%		57.9%	40.7%	44.8%	14.8%	14.2%	32.3%	28.5%	23.7%	16.6%	1.2%	7.1%
どちらかといえば嫌い	n	97	65	41	37	9	10	22	26	28	26	4	6
	%		67.0%	42.3%	38.1%	9.3%	10.3%	22.7%	26.8%	28.9%	26.8%	4.1%	6.3%
嫌い	n	24	14	9	7	1	0	6	9	6	4	1	1
	%		58.3%	37.5%	29.2%	4.2%	0.0%	25.0%	37.5%	25.0%	16.7%	4.2%	4.2%

出所：「府中市新総合体育館基本構想策定支援業務」市民ニーズ調査結果

参考 | 世論調査

- 市民を対象とした世論調査を実施しており、新公園についても設問を設けています。
- 本調査結果を参考にするとともに、質問の重複等に留意します。

予定されている質問項目

問 1 府中基地跡地に新たな公園が整備されることを知っていましたか。

問 2 府中基地跡地新公園に期待するものは何ですか。（最大 3 つまで）

問 3 府中基地跡地新公園を訪れる場合に想定される主な交通手段は何ですか。（1 つのみ）

問 4 府中基地跡地新公園にあったら良いと思う施設は何ですか。（最大 3 つまで）

② 既往調査の整理 | 対象地の利活用に関する意見の傾向

- これまでの調査では、「緑・自然環境」「防災」「多世代利用」といったテーマが一貫して重視されています。
- これらのテーマは新公園整備においても当てはまる重要な価値観であると考えられ、より重視すべきテーマや、具体的な新公園への導入方策について深掘することが必要です。

緑や自然環境の保全

- 全ての調査を通じて最も多く見られたのは、「広い緑地」「開放感」「景観形成」など、自然環境を重視する意見であった。
- 基地跡地だからこそ残されていた緑が対象地の最大のポテンシャルであることが伺える。

防災機能の確保

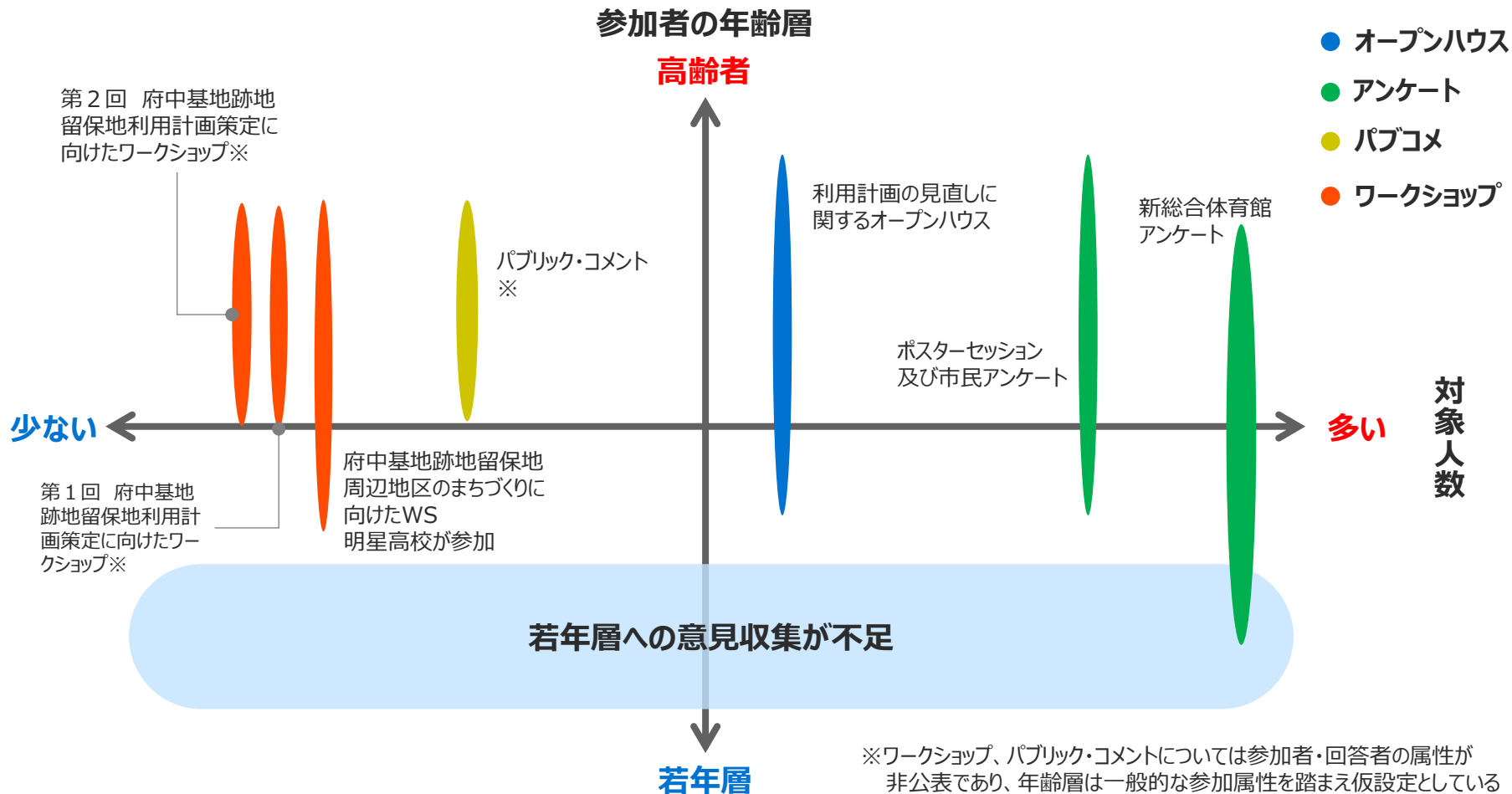
- 避難場所や防災拠点としての活用を求める意見が継続的に見られた。
- 平時の日常利用と、有事の安全確保を両立できる空間が求められている。

多世代での利用

- 子ども、高齢者、家族など、多様な世代が安心して利用できる空間が期待されている。
- イベント中心ではなく、散歩や休憩など日常的に利用できる公共空間が重視されている。

③ 対象者の検討

- 過去の調査における対象者や調査規模の傾向をみると、ワークショップなどの事業に関心が高い層へのアプローチが中心であり、広く一般市民を対象とした意見収集は有効であると考えられます。
- また、多世代での利用が希望されている中で、若年層への意見収集が不足している傾向にあり、重点的な調査が必要です。



④ 調査計画の概要

- これまでの調査内容を踏まえ、アンケートの対象や方法を以下のように設定します。

調査目的

新公園のコンセプトや整備の方向性を検討するため、求める導入機能や使われ方について、幅広く市民ニーズを把握する

調査対象

- 市内全体の一般市民
- 市内全体の小・中学校の在校生及びその保護者

調査対象の選定理由

- 新公園に関して広く市民のニーズを把握するため、一般市民を対象とする
- 意見収集が不足している若年層へのアプローチの補強のため、小・中学生にターゲットを絞ったアンケートを並行して実施する

調査期間

令和8年7月（回答期間：3週間程度）

※第1回協議会終了後

調査方法

- Google Formsで調査票を作成し、ウェブ上で回答する
- 小中学校に対しては、フォームのリンクとQRコードを記載した用紙を教育委員会を通じて各学校から生徒に配布する
- 一般市民に対しては、ホームページにGoogle Formsのリンクを掲載し、ウェブ上で回答を集める
- 市の広報紙でアンケート実施を案内する
- Google Formsが利用できない市民への措置として、公共施設等において、紙用紙での配布・回収を受け付ける

留意点

- Google Formsを用いてウェブアンケートをする場合、グーグルアカウントによるログインが必要となるため、同一人物による重複回答をある程度防ぐことができる

⑤ 設問項目の設定 | 一般市民向け (1/2)

- 設問の構成は、現状の公園の使い方を伺ったうえで、どのような公園が望ましいか伺う構成とします。
- 設問へのイメージを持っていただくため、依頼文において、利用計画や新総合体育館の案を簡単に紹介します。
- 回答・集計のしやすさを考慮し、極力選択制とします。

質問項目		計画検討への反映方針	選択形式	選択肢等
回答者属性	年齢	属性に応じた傾向把握に活用	単回答	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上
	お住いの地区		単回答	(世論調査等と同様に文化センター地区での区分を想定)
現在の公園の利用状況	日常の公園の利用頻度	属性に応じた傾向把握に活用	単回答	日常的に利用する・平日はよく利用する・休日はよく利用する・たまに利用する・ほとんど利用しない
	普段公園でどのような活動を行うか	希望する導入機能とのギャップの検証	複数回答	遊具で遊ぶ・広場で遊ぶ・休息・運動(散歩・ランニング)・公園内の施設を利用する・自然観察・イベントへの参加・その他(自由記述)
	公園を利用しない理由	潜在的なニーズ把握による導入機能等への反映	複数回答	特に目的がない・魅力的な施設がない・アクセスが悪い・禁止事項が多い・暑さをしのぐ場所がない・その他(自由記述)
新しい公園についてのご意見	公園整備において特に重視すべき空間	コンセプトへの反映、検討に向けた留意事項の確認	重要度を選択	【評価軸】 重要・やや重要・どちらでもない・やや重要ではない・重要ではない 【評価対象】 ①豊かな緑地や自然環境がある公園 ②見通しがよく開放感のある公園 ③様々な遊び・運動・スポーツ活用ができる公園 ④イベント広場やカフェ・売店等があり賑わいがある公園

⑤ 設問項目の設定 | 一般市民向け (2/2)

- ・ 設問の構成は、現状の公園の使い方を伺ったうえで、どのような公園が望ましいか伺う構成とします。
- ・ 設問へのイメージを持っていただくため、依頼文において、利用計画や新総合体育館の案を簡単に紹介します。
- ・ 回答・集計のしやすさを考慮し、極力選択制とします。

質問項目		計画検討への反映方針	選択形式	選択肢等
新しい公園についてのご意見	どのような活動または場所があると良いか	導入機能の検討	複数回答	・運動や散歩ができる園路（散策路、ランニングコースなど） ・長時間過ごすことができる広場（アウトドア場や火（BBQや花火）が使用できる広場など） ・ペットと遊べる広場（ドッグラン施設など） ・色々なイベントが楽しめる広場（キッチンカー、フリーマーケット、大道芸など） ・鳥や虫、花などを観察できる場所 ・四季を感じることができる場所 ・水遊びができる施設（噴水や水流など） ・暑さをしのぐ空間（木陰、屋根付き休憩所など） ・子どもが長時間遊べる遊具（大型遊具、複合遊具、アスレチックなど） ・子どもの年齢に応じた豊富な遊具 ・ボール遊びができる広場（防球ネットのある広場など） ・アーバンスポーツ（BMX・スケートボード等）ができる広場 ・公園内で利用できるカフェ、売店 ・災害時に逃げ込むことのできる場所 ・モニュメントなど芸術に触れることができる場所 ・基地の歴史・面影を感じられる空間 ・その他（自由回答）
	公園と図書館の配置で重視してほしい点	施設配置計画への反映	複数回答	公園内に読書空間がある・施設内に公園を臨める読書空間がある・静かに過ごせる読書空間がある・公園と行き来できる出入り口がある・特になし
	公園整備の懸念点	検討に向けた留意事項の確認	複数回答	騒音・周辺の渋滞・防犯・違法駐車・ゴミやマナーの問題・その他（自由回答）
	公園整備に期待すること	－	自由記述	－

⑤ 設問項目の設定 | 小中学生・保護者向け

- ・ 設問の構成は、現状の公園の使い方を伺ったうえで、どのような公園が望ましいか伺う構成とします。
- ・ 回答・集計のしやすさを考慮し、極力選択制とします。
- ・ 子ども向けには、回答しやすい言葉遣いや質問内容とします。

質問項目		計画検討への反映方針	選択形式	選択肢等
回答者属性	学年	属性に応じた傾向把握に活用	単回答	小学校 1 年生・2年生・3年生・4年生・5年生・6年生 中学校1年生・2年生・3年生
	通っている学校		単回答	
現在の公園の利用状況	日常の公園の利用状況	属性に応じた傾向把握に活用	単回答	日常的に利用する・平日はよく利用する・休日はよく利用する・たまに利用する・ほとんど利用しない
	普段公園でどのような活動を行うか	希望する導入機能とのギャップの検証	複数回答	遊具で遊ぶ・鬼ごっこやかくれんぼなど・おしゃべりやゲーム・虫や植物の観察・スポーツ・散歩・イベントや祭り・その他（自由記述）
	公園を利用しない理由	潜在的なニーズ把握による導入機能等への反映	複数回答	薄暗くて怖い・日陰が少ない・遊べる場所が少ない・遊具が少ない・トイレが汚い・遊ぶ時間がない・その他（自由記述）
新しい公園についてのご意見	どのような活動または場所があると良いか	導入機能の検討	複数回答	・運動や散歩ができる園路（散策路、ランニングコースなど） ・長時間過ごすことができる広場（アウトドア場や火（BBQや花火）が使用できる広場など） ・ペットと遊べる広場（ドッグラン施設など） ・色々なイベントが楽しめる広場（キッチンカー、フリーマーケット、大道芸など） ・鳥や虫、花などを観察できる場所 ・四季を感じることができる場所 ・水遊びができる施設（噴水や水流など） ・暑さをしのぐ空間（木陰、屋根付き休憩所など） ・子どもが長時間遊べる遊具（大型遊具、複合遊具、アスレチックなど） ・子どもの年齢に応じた豊富な遊具 ・ボール遊びができる広場（防球ネットのある広場など） ・アーバンスポーツ（BMX・スケートボード等）ができる広場 ・公園内で利用できるカフェ、売店 ・災害時に逃げ込むことのできる場所 ・モニュメントなど芸術に触れることができる場所 ・基地の歴史・面影を感じられる空間 ・その他（自由回答）